

「神は私たちの味方」

ローマ8：31

堀田修一 23・11・5

I 「では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか」：31前半。これまで、見てきた神の偉大なご計画による私たちの確実な救い、神がすべてのこと(マイナスに見える苦しみも)をともに働かせて益(へりくだり神にもっと頼る、主の姿への成長、他の人への優しさ、思いやり)としてくださる恵み、神が主を信じる信仰により義と認めてくださり(義認。神との和解・罪の赦し・永遠のいのち)、御聖霊とみことばと苦難により聖め続け主の姿に変え続けてくださり(聖化)、主の再臨の時に、罪と傷のない栄光のからだを与えてくださる(栄化) 確実な恵みの中にある中で、「どのように言えるでしょうか」。

II これまで語られた神の確実な救いの恵みを覚える時に、一つの結論しかない＝「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう」：31。

1. 「神が私たちの味方であるなら」の「なら」は、「何々だとしたら」の意味ではありません。

それは、揺るぎない「なら」であり、「何々である以上」を意味します。事実として「神が私たちの味方である以上」、「だれが私たちに敵対できるでしょう」の宣言です！このみことばの意味は、神が私たちの味方であるので、①「私たちが受ける栄光を、だれも奪えない」。②「神の御計画を止めさせ、主の謀りごとを捨てさせることのできるものはいない」。③「救われた私たちの魂を神の永遠の愛から引き離すことのできる神より力のある敵はいない」という意味です。これは、この地上で、主を信じる者に、何の問題、苦難、敵対がないという意味では決してありません。実際は、その正反対です。聖書が何度も教えている通り、この地上では、私たちに敵対する凄まじい勢力が多くあり、その威力と悪意は表し難いものです。パウロは、この敵対、妨害、苦難、迫害の現実をしっかりと受け止め、経験した上で、「この全能の神の偉大な御力が私たちに味方している事実があるので、私たちに敵対しても、神が味方となり守ってくださる私たちに打ち負かすものはないと」確信をもって語っているのです！

2. 聖書は、決してキリスト者生活が安楽なことばかりとは主張しません。信仰者が、何の葛藤も、苦難もなく、すべてがうまく行き、繁栄、商売繁盛するという教えは、まぎれもなく、異端(聖書を都合よく解釈し間違った教えを押し付ける、カルト化するもの)であり、新興宗教(適切に考える力を無くさせ、洗脳するもの)です。また、「私たちの教団の教えに背くと神のたたきがある」と脅し支配するのも間違った宗教です。

①主が来られ、世が終わる時のしるし=イエスは答えられた「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします(統一教会等)。…民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります(ルカ21：11では「疫病が起こり」もある)。しかし、これらはすべて(新天地の)産みの苦しみの始まりなのです。…また、偽預言者(聖書と違う教え、主ではなく自分を崇めさせ自分につける指導者)が大勢現れて、多くの人を惑わします(「新天地」など)。…

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わり（主の再臨）が来ます」マタイ24：3-8、11。主の福音こそ真の救いです！

- ②主は語られた「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました（その勝利のわたしが、苦難の中にあるあなたがたの味方です）」ヨハネ16：33。
- ③「終わりに言います。主（いつも味方である方）にあって、その大能の力によって強められなさい。悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、（味方である）神のすべての武具を身に着けなさい。私たちの格闘は血肉（人間）に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者（悪魔）たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。ですから、邪悪な日に際して対抗できるように…神（味方である方）のすべての武具（真理のみことば・平和の福音・信仰の盾・御霊により祈り合い支え合う）を取りなさい」エペソ6：10-13。
- ④悪魔は、私たちを罪に誘惑し、私たちを訴える者（「告発者、昼も夜も私たちの神の御前で訴える者」黙示録12：10）。悪魔は私たちを責める。「おまえは、クリスチャンとして失格であり、神は、おまえを見捨てた、見放している」と。しかし、神は主を信じる私たちの常に味方である。私たちは、主を信じて罪の性質が心に残っていると聖書は語ります。ですから、キリスト者で心の罪を含めて罪を犯さない人はいない。しかし、真のキリスト者は、Iヨハネ1：9のみことばに従い、自分の罪を隠さず神に正直に告白します。すると神は、主の十字架の完璧な贖い、罪の償いの御業のゆえに私たちを完全に赦し、きよめてくださる。悪魔は、私たちより、強い。しかし、私たちの味方である偉大な神は、悪魔より何倍も強い。それは、神は、すべての造り主だから。悪魔は、神に造られた被造物の天使であり、高慢になり神のようになろうとし墮落し悪魔になりました。私たちの頭では理解しにくいですが、神には神の計り知れないお考えがあり、神は、ある程度、悪魔の悪の働きを許しておられる。しかし、聖書全体から分かることは、悪魔は、偉大な神の制限の中でしか働けないのです。神は全能の神であり、何事も可能な神であり、万物の創造者、支え主、支配者。神は「すべての主」であり、永遠から永遠に渡り存在され、王である。そのお方が、私たちの味方！

Ⅲ 神が私たちの味方でなければ、私たちは主を信じてもないし、主を信じても多く苦難とつまずきの中で、とっくに主と教会から離れていることでしょう。

1. 神こそ、私たちを召し、救いに招き、今日まで、一切のことを私たちの味方として行っていてくださるお方です。神が私たちを生かしてくださっていなければ、私たちは、今なお「罪と罪過の中で死んでいた」（エペソ2：1）ことでしょう。神は常に私たちの味方として関心を寄せ、特別に私たちのことを気遣ってくださっています。何が私たちに敵対してしようと、神は私たちの味方です。私たちは、味方である神と共に霊的な敵と戦うことができます。病、弱さ、苦難の中で味方である神が私達を支えておられる！

2. パウロの体験の励まし。

- ①神が常に味方なので「私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれますが、行き詰まることはありません。迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです」IIコリント4：8-10。
- ②神が常に味方なので「苦難にも困難にも、むち打ちにも入獄にも、疲れ果てた時も眠れない時も食べられない時も、大いなる忍耐を働かせて、また、純潔と知識、寛容と親切、聖霊と偽り

のない愛、真理のことばと神の力により、また左右の手にある義の武器（神の霊的な武具）によって、また、ほめられたりそしられたり、悪評を受けたり（落ち込まず）好評を博したりする（高慢にならない）ことによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても真実であり、人に知られていないようでも、よく知られており、死にかけているようでも、見よ、生きており、懲らしめられているようでも、殺されておらず、悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持っていないようでも、すべてのものを持っています（すべての与え主の主が心に住んでおられる）」6：4－10。辛い時、この二つのみことばを読み味わい、常に味方であられる神を覚え神に心から感謝し賛美しましょう。教会福音讃美歌383「神は私の強い味方」